

α(2-3) ニュラミニダーゼ S (肺炎球菌由来) 、組換え品

Cat. No. NATE-1275

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明

ノイラミニダーゼ酵素は、ノイラミン酸のグリコシド結合を切断するグリコシド加水分解酵素 (EC 3.2.1.18) です。ノイラミニダーゼ酵素は多々な生物に見られる大きなファミリーです。最もよく知られているノイラミニダーゼはウイルス性ノイラミニダーゼで、インフルエンザ感染の口散を防ぐための口剤ターゲットです。ウイルス性ノイラミニダーゼは、インフルエンザウイルスの表面に見られる抗原決定因子として頻繁に使用されます。インフルエンザノイラミニダーゼのいくつかの異体は、ウイルスに他のものよりも高い病原性を与えます。他のホモログは哺乳類細胞に見られ、さまざまな機能を持っています。

別名

神□細胞アミダーゼ; シアリダーゼ; α-神□細胞アミダーゼ; アセチル神□細胞アミダーゼ; エキソ-α-シアリダーゼ; EC 3.2.1.18; 9001-67-6

製品情報

種	肺炎球菌
由来	E. coli
形態	50 mM NaCl、20 mM Tris-HCl (pH 7.5 25°C) 、および1 mM EDTA。
分子量	74000 daltons
純度	> SDS-PAGEによって95%決定される
活性	160,000 ユニット /mg
単位定義	1単位は、1 nmolのNeu5Ac α 2-3Gal β 1-3GlcNAc β 1-3Gal β 1-4Glc-AMCの端末 α -Neu5Acを95%以上切断するのに必要な酵素の量として定義され、37°Cで1時間、総反応体積10 μlで行われます。

保管・発送情報

保存方法

-20°Cで